

経済センサスー活動調査 とは

調査の目的:

経済センサス-活動調査は、全産業分野の売上(収入)金額や費用などの経理項目を同一時点で網羅的に把握し、我が国における事業所・企業の経済活動を全国的及び地域別に明らかにするとともに、事業所及び企業を対象とした各種統計調査の母集団情報を得ることを目的としています。

調査の内容:

- ・工場や喫茶店、個人事務所などを含む、すべての事業所・企業が対象です。
- ・名称、所在地、経営組織など、基本的な項目に加えて、事業内容、売上・費用、設備投資など、企業の経済活動について調査します。
- ・調査の結果は、政策決定や経営計画を行っていく上で、参考とされる資料となり、国民の皆さまの暮らしをよりよくするために活用されます。

..調査の範囲..

大山崎町全域を5つの担当区域に分割し、調査員一人当たりおよそ70の事業所を受け持っています。

..仕事内容..

(令和8年 5月中旬)

(令和8年 5月上~中旬)

調査員説明会への出席

調査についての説明を聞いて調査の方法や調査内容等を理解します。

調査対象事業所の確認

担当する区域の地図を受け取り、担当区域内の調査対象事業所を把握します。

調査の事前依頼

調査対象事業所を訪問して『調査についてのお知らせ』(リーフレット)を配布(※)します。

(令和8年 6月上~下旬)

調査書類の提出

調査書類・用品を決められた期日までに市町村に提出します。

調査票の回収・検査

約束した日時に事業所を訪問し調査票を回収(※)します。回収した調査票の記入内容を検査します。

オンラインにより回答した事業所への回収のための訪問、検査は不要です。

(令和8年 5月下旬)

調査票等の配布

調査対象事業所を訪問し調査票等を配布(※)して、回答を依頼します。

調査の回答方法について、オンラインによる回答のほか、調査員に調査票を提出できることを説明します。

お問合せ先:

大山崎町企画財政課企画観光係 電話:956-2101(内314)



裏面もご覧ください

(参考)

国勢調査との違い

- ・ 大山崎町全域を、調査員5人で受け持つため、一人あたりの受持ち範囲(面積)が大きくなります。
(抽出調査ではなく、町内の全事業所が調査対象です。※大企業等は国による直轄調査。)
- ・ 訪問すべき事業所のリストはあらかじめ用意されていますが、リストにない新たな事業所が担当調査区にあれば、その事業所も調査対象になります。
(当初の目安としては、調査員1名あたりおよそ70事業所を担当。)
- ・ 事業所ごとに営業時間等が異なるため、先方の都合に合わせて訪問する必要があります。
- ・ 国勢調査と比べると、「経済センサス」という調査名の知名度は高くないため、より丁寧な説明が必要です。